

平成 31 年度 一般採用試験

国 語 試 験 問 題

(人文・社会科学専攻)

(注 意)

1. 解答用紙の注意事項を確認のうえ、例にならって氏名及び受験番号を解答用紙に必ず記入及びマークすること。

例 【氏名】 防大 渚 【受験番号】 神奈川人W1234 の場合

※氏名及び受験番号の記入について

	氏	名
フリガナ	ボウダイ	ナギサ
漢 字	防大	渚

	志願地本名	専攻区分	番 号
受験番号	神奈川	人	W1234

※受験番号等のマークについて (女子受験者は、番号のWはマークしない。)

志願地本名	専攻区分		番 号			
	01	02	0	0	0	0
札幌：(01)	福島：(10)	人社 ●	●	1	1	1
函館：(02)	茨城：(11)	性別	2	●	2	2
旭川：(03)	栃木：(12)	男 (1)	3	3	●	3
帯広：(04)	群馬：(13)	女 ●	4	4	4	●
青森：(05)	埼玉：(14)	男 (1)	5	5	5	5
岩手：(06)	千葉：(15)	女 ●	6	6	6	6
宮城：(07)	東京：(16)	男 (1)	7	7	7	7
秋田：(08)	神奈川：●	女 ●	8	8	8	8
山形：(09)	新潟：(18)	男 (1)	9	9	9	9

2. 試験時間中は、すべて試験係官の指示に従うこと。
3. 解答方法は、択一式であり、設問ごとの指示に従い、解答用紙の解答欄にマークすること。  
 例えば、**1** と表示のある問題に対して(3)と解答する場合は、次の例のように **1** の解答欄の **(3)** にマークすること。

解 答 欄
<b>1</b> (1) (2) ● (4) (5)

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の  
問題から掲載することができませんので、ご了承承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の  
問題から掲載することができませんので、ご了承承願います。



この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の  
問題から掲載することができませんので、ご了承承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の  
問題から掲載することができませんので、ご了承承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

(ジョセフ・ナイ氏の「民主国家が開放性を維持すべき理由―シャープパワーとソフトパワーの間」(二〇一八年三月)による。なお、出題の都合上、原文の表記を一部改めてある。)

\* (注) 全米民主主義基金——世界の民主化のために他国の政党や団体に資金を提供するアメリカの財団。

フォーリン・アフェアーズ——アメリカの代表的な外交評論雑誌。

エッセー——評論。

オサマ・ビン・ラディン——二〇〇一年九月二日に起きた全米同時多発テロの首謀者とさ

れる人物。世界貿易センタービルなどに、ハイジャック犯に乗っ取られた民間航空機が突入して、多くの死傷者を出した。

ノ連国家保安委員会——ノ連の諜報機関。

AIDS——エイズ。一九八〇年代に突如世界で蔓延し始めた人間の免疫を破壊する伝染病。当時は治療法のない不治の病として恐れられた。

ピザゲート——ワシントンのピザ店が小児性愛の拠点となつていくというニュースが流れた際、ニクソン大統領のウォーターゲート事件をもじつてこのように呼ばれた。

ヒラリー・クリントン——アメリカ四二代大統領ビル・クリントンの妻で、二〇一六年大統領選に民主党候補として立候補したが、共和党のドナルド・

トランプ候補に惜敗した。

トロール——ネット荒らし。

ボット——特定のタスクを自動的に処理するアプリ。ボットが悪用されると、短時間のうちにフェイクニュースがネット上に拡散されたりする。

スポイラー——平和や安定を乱す者。

ゼロサム——勝者の取り分と敗者の失う分が同じで、その和がプラスマイナスゼロになる状態のこと。一般的にその当事者間の合意が付きにくいと言われている。

逆に双方が一定の取り分を期待できることの多いポジティブサムの状態では、合意に達しやすいと言われている。

アジェンダー——議題。

1

（ヘンリー・パーカー）の事例として、本文の論旨に照らして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) ソ連は、アメリカの生物化学兵器開発が、新たに発見された伝染病の発生を招いたとの情報操作を行った。
- (2) イギリスの国営放送は、今日でも政府との密接な連携を通じて、対外情報工作において重要な役割を担っている。
- (3) 中国国営通信社新華社は、他国に向けて現地語でニュースを流して、自国の経済発展を盛んにアピールしている。
- (4) ロシア当局はフェイクニュースを通じて、ヒラリー・クリントン候補の個人的異常性癖を指摘することによって、その信用を落とそうとした。
- (5) 冷戦期には各国の反共的文化人の団体が、アメリカ文化の魅力を世界に広める上で重要な役割を果たしていた。

2

本文中の空欄

にあてはまる語句として、本文の論旨に照らして、最も適当なものを、それぞれ選択肢(1)～(4)の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- 2 (1) 国境を越えて、専横する (2) 穴を開けて、浸透する (3) 語りかけて、発信する (4) 忍び込んで、破壊する
- 3 (1) 文化と価値 (2) 制度と法令 (3) 社会と娯楽 (4) 芸術と音楽
- 4 (1) 微笑あるいは暴力 (2) 報酬あるいは恫喝 (3) 贈与あるいは搾取 (4) 誘惑あるいは操縦
- 5 (1) 予算から最低限の備蓄 (2) 収益から最低限の貢納 (3) 投資から最低限の配当 (4) 貯蓄から最低限の利息
- 6 (1) 柔軟性 (2) 道義性 (3) 即応性 (4) 自発性
- 7 (1) 官僚国家 (2) 市民社会 (3) 議会政治 (4) ネット空間



## 8

（ソフトパワー）もしくは（シャープパワー）に関する説明として、本文の論旨に照らして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) ウォーカーとルドウィッグは、中国やロシアと同じやり方で西側諸国が相手のシャープパワーに対抗すべきと主張している。
- (2) ソフトパワーはハードパワーと併用するとその効力は大きく増すが、この点についても軍事的に優位にある側の方が有利な立場を確保しやすい。
- (3) 今日中国やロシアが情報戦争を仕掛けてきているが、それは民主主義国家の世論を操作して、極右政党への支持を拡大するためである。
- (4) 冷戦期からロシア（ソ連）は、アメリカ文化が社会主義諸国に及ぼす思想的悪影響を世界に対して盛んに喧伝してきた。
- (5) アメリカの出版社が、中国政府からの資金提供を受けて、中国に批判的な論文を掲載しなくなったのなら、それを積極的に報道すべきである。

## 9

本文の全体の論旨の説明として、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) シャープパワーは中国やロシアのような権威主義国家が得意としており、民主主義国家はそういった手段を持たないので、今後の国際関係で後者はますます不利な状況に置かれていく。
- (2) 西側諸国はその民主主義的制度のゆえに、権威主義国家による資金力を生かした情報工作の標的にされやすいが、中国などから多くの留学生を引き寄せる魅力を持っているので、国内社会に及ぶ悪影響は最小限に抑えられている。
- (3) イスラム過激派テロリストが、ソーシャルネットワークサービスを介して、欧米社会に住む若いイスラム教徒が国内で無差別テロに走るのを教唆するのは、ハードパワーの行使の一環と見ることができるとしている。
- (4) 強制力や資金力を通じて情報工作を展開している権威主義国家が、透明性のある手段で自国の文化の魅力をアピールしようとしてきたとき、民主国家はその浸透を阻む措置を講じるべきではない。
- (5) 民主主義国家への情報工作に権威主義国家が投入する資金が多くなると、それだけその国の好感度は増大するので、民主主義国家も多くの資金を費して、効果的な検閲制度を構築していく必要がある。

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。



この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の  
問題から掲載することができませんので、ご了承承願します。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の  
問題から掲載することができませんので、ご了承承願します。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の  
問題から掲載することができませんので、ご了承承願します。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の  
問題から掲載することができませんので、ご了承承願します。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

(加藤尚武氏の「脳死・クローン・遺伝子治療」による。なお、出題の都合上、原文の表記を一部改めてある。)

\* (注) 環境ホルモン——環境中に存在する物質のうち生体内にとりこまれるとホルモンに似た働きをする化学物質。

J・S・ミル——一九世紀イギリスの哲学者・政治思想家。

アトム——原子。

ピーチャムとチルドレス——二〇世紀・二一世紀アメリカの生命倫理学者。

代理母——契約に基づいて、夫の精子を妻以外の女性に人工授精させ、又は、夫婦の受精

卵を妻以外の女性に着床させることによって妊娠した女性。

カルドーン判決——一九一四年のニューヨーク州最高裁判所判決。

根治治療——病気が再発しないことを目的に完全に治療すること。

救済治療——救済のために挑戦する価値があると考えられる方法によって治療すること。

選択的人工妊娠中絶——出生前の診断によって判明した胎児の疾患などを理由に妊娠中絶

をすること。

10

傍線部の片仮名(1)～(5)に相当する漢字として、本文の論旨に照らして、誤っているものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 的確
- (2) 罹
- (3) 要
- (4) 謳
- (5) 態勢

11

本文中の空欄   にそれぞれ入る語の組み合わせとして、本文の論旨に照らして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| (1) アー自由主義的個人主義 | イー共同体主義  |
| ウー全体主義          | エー非合理主義  |
| (2) アー理性主義      | イー共同体主義  |
| ウー自由主義的個人主義     | エー全体主義   |
| (3) アー理性主義      | イー人間中心主義 |
| ウー共同体主義         | エー非合理主義  |
| (4) アー自由主義的個人主義 | イー全体主義   |
| ウー人間中心主義        | エー共同体主義  |
| (5) アー自由主義的個人主義 | イー非合理主義  |
| ウー理性主義          | エー全体主義   |



12

本文中の空欄

オ

に入る文章として、本

文の論旨に照らして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 先進的な医療技術の実態を無視した議論でしかない
- (2) 非西欧の政治的実情を考慮しない独善的観点である
- (3) 高額の治療が可能な文化の中での議論にすぎない
- (4) 安楽死における当人の意思を無視した極論である
- (5) 自由主義の本質からは逸脱した抽象論にすぎない

13

本文中の「自己決定権」に関する説明として、本文の論旨に照らして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 日本の文化は、共同体主義的な風土の下で成立しているため、そのような文化的背景の下で、自己決定権論に基づくインフォームド・コンセントを導入すると、医師と患者の関係が崩壊する。
- (2) バイオエシックスのアメリカ型とヨーロッパ型の対立の根底にあるのは、理性の優位を承認するかどうかの対立であって、それに対する結論の違いによって、自己決定権の尊重の程度が変わってくる。
- (3) 良好な自然環境がないと自己決定論は成立しないから、環境問題は、個人の自己決定権を常に支え、これを拡充するという関係にある。
- (4) 自己決定権の重視という倫理に適合的な病気が生活習慣病であるのに対して、遺伝病の治療の際には、これとは別の倫理が必要となる。

14

本文の内容に関する説明として、本文の論旨に照らして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 従来の個人主義的な自由主義の潮流に対する反動としての性格を持つ共同体主義は、個人の自由意志の尊重、許容よりも社会の基本的価値に関する大多数の合意、承認の方を重視するものであり、そこに現代の医療倫理の限界を打破する可能性を見出すことができる。
- (2) 西洋文化におけるスポーツは、それが理性的であるか否かという判断を超え、それを実践する当人の自由意志こそが最も尊重されるものであり、ミルの『自由論』に展開されているような、効率と利益を重んじる西洋の合理主義的考え方がそこに典型的に表れている。
- (3) 根治治療と救済医療のどちらにおいても、インフォームド・コンセントは不可欠の前提条件であるが、根治治療においては患者本人の判断と意向が最優先とされるのに対し、救済治療においては医療者側の判断が最も重視され、そこへの社会的な承認は求められない。
- (4) バイオエシックスは西欧近代の思想と社会形態を基盤として成立した学問だが、最先端医療の現場において「他者危害原則」の限界性が露呈するとともに、医療と社会環境との現実的關係を踏まえて、公共選択という要素を重視する医療倫理の傾向が拡大しつつある。
- (5) バイオエシックスの成立の背景には、従来型の医の倫理の枠内ではうまく処理できない医療行為に対処する必要性があったのだが、クローン技術や代理母問題が新たに浮上することで、医療行為をめぐる社会的コンセンサス自体が否定されるような事態が起きている。

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

(土屋知貞の『太閤素生記』による)

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

(小瀬甫庵の『太閤記』による)

\* (注) 正——鎌倉時代から江戸時代にかけて用いられた銭貨の数え方。「永楽」は、室町時代に

中国から日本に大量に輸入され、江戸時代初頭まで流通した水楽銭。

清洲——現在、愛知県清須市。織田信長の居城があった。

鳴海——現在、愛知県名古屋市緑区。東海道の宿駅。清洲より東で、遠江国寄り。

遠州浜松——現在、静岡県浜松市。

曳馬の川——現在の馬込川か。浜松の町外れを流れる。

久能——現在、静岡県袋井市。

尾州——尾張国。現愛知県西部。

納戸——寢室と貴重品倉庫とを兼ねた部屋。

香芥——「芥」とも。日本刀（脇差）の付属品のひとつで、刀と一緒に持ち歩くことも多かった。

印籠——薬などを携帯するための小さな容器。

巾着——小物や手回り品を収納して持ち歩くための袋。

具足——甲冑（かっちゅう）。胴部を守る鎧（よろい）と、頭部を守る兜（かぶと）からなる武具。ここは特に前者を指す。

桶皮胴——横板の上下を順に重ねて紙（びょう）で留めたもの。桶のような形なのでこう呼んだ。

15

『太閤素生記』によれば、豊臣秀吉は、どういう目的で、どういう方法を使って、隣国の浜松まで出てきたのか。その説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 隣国の遠州で商売をして金をもうけるため、父の残した金の一部をそのまま旅費に使った。
- (2) 隣国の遠州で行商をして仕官の機会を得るため、父の残した金を全額旅費に使った。

(3) 隣国の遠州で商売をして金をもうけるため、父の残した金の全額を針商の元手としこれを増やし旅費を作った。

(4) 隣国の遠州で行商をして仕官の機会を得るため、父の残した金の一部を針商の元手として増やし旅費を作った。

(5) 隣国の遠州で行商をして仕官の機会を得るため、父の残した金の全額を針商の元手として増やし旅費を作った。

16

傍線部(イ)～(ニ)の読みの組み合わせとして最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- |          |   |      |   |      |   |     |
|----------|---|------|---|------|---|-----|
| (1) イぞうり | 口 | ばつか  | ハ | ほくよく | ニ | ふびん |
| (2) イぞうり | 口 | まくした | ハ | ほくよく | ニ | ふべん |
| (3) イぞうり | 口 | ばつか  | ハ | もくよく | ニ | ふべん |
| (4) イわらし | 口 | まくした | ハ | もくよく | ニ | ふびん |
| (5) イわらし | 口 | ばつか  | ハ | もくよく | ニ | ふびん |



17

二重波線部で、嘉兵衛はなぜ笑ったのか。その理由についての説明として、本文の内容全体に照らして、誤っているものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 秀吉が人間というより猿そのものに見え、少し軽くみていたから。
- (2) 秀吉の貧相で醜い姿で仕官を希望していることが意外だったから。
- (3) 秀吉が仕官を本気で希望しているのかわかに信じ難かったから。
- (4) 秀吉の猿のような容貌と釣り合わない志に少し興味を持ったから。
- (5) 秀吉の容貌を見世物にして楽しもうという企てを思いついたから。

18

点線部の現代語訳として最も適当なものを、次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) ほとんど一つとして嘉兵衛に対し行き届かないところはなかった。
- (2) あれこれ一つとして嘉兵衛が秀吉を思い通りにできないことはなかった。
- (3) あれこれ一つとして嘉兵衛の心に沿わないところはなかった。
- (4) ほとんど一つとして嘉兵衛が秀吉と心が通わないところはなかった。
- (5) あれこれ一つとして嘉兵衛が秀吉と心が通わないところはなかった。

19

『太閤素生記』と『太閤記』では、松下嘉兵衛の家を出て信長に仕えた経緯が異なる。その説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 『太閤素生記』では、秀吉は自分の容姿を周囲に笑われて松下家を出る決意をしたが、『太閤記』では、松下嘉兵衛に織田家の武器を買って寄こすよう命令されて、松下家を後にし、織田家に潜入して情報を内偵しようとした。
- (2) 『太閤素生記』では、秀吉は急な出世を遂げて周囲から妬まれ、松下嘉兵衛の勧めによって家を出たが、『太閤記』では、松下嘉兵衛に織田家の武器を買って寄こすよう命令されて、松下家を後にし、織田家に潜入して情報を内偵しようとした。
- (3) 『太閤素生記』では、秀吉は自分の容姿を周囲に笑われたので、松下家を出る決意をしたが、『太閤記』では、松下嘉兵衛に織田家の武器を買って寄こすよう命令されて、家を後にし、その命令を裏切った。
- (4) 『太閤素生記』では、秀吉は急な出世を遂げて周囲から妬まれ、松下嘉兵衛の勧めによって家を出たが、『太閤記』では、松下嘉兵衛に織田家の武器を買って寄こすよう渡された金を元手に、主君を信長に乗り換えることにした。
- (5) 『太閤素生記』では、秀吉は自分の容姿を周囲に笑われたので、松下家を出る決意をしたが、『太閤記』では、松下嘉兵衛に織田家の武器を買って寄こすよう渡された金を元手に、主君を信長に乗り換えることにした。

二重傍線部「べし」と同じ意味の「べし」を含む一文を次の中から一つ選  
び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 必ず御送りつかうまつるべし
- (2) 軍人は忠節を尽くすを本分とすべし
- (3) 浅智短才の筆に及ぶべくもあらず
- (4) 一言の挨拶のあつてしかるべき処なり
- (5) 故郷は遠きにありて思ふべし

21~25

天喜五年（一〇五七）十一月、將軍源賴義は、安倍貞任らと戦うも大敗してしまふ。次の文章は、その時の頼義側の武将について述べたものである。これを読んで、後の設問に答えよ。ただし、設問の都合上、文章の一部と送り仮名を省略したところがある。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

（『陸奥話記』による）

\*（注） 梟帥——勇猛な敵將。

散位——位階だけがあつて、官職のない人。

驍勇——強く勇ましいこと。

葬斂——死者を葬ること。

兵革所衝——戦場。

前師——先鋒。



21

傍線部(1)の意味として最も適当なものを次より一つ選び、その番号を解答紙にマークせよ。

- (1) 死を直視すると、家に帰りたくなるくらい恐ろしくなる。
- (2) 死に臨んで、家に帰るときのように落ち着いている。
- (3) 家に帰るときと同様、いつも死を覚悟している。
- (4) いつでも死を覚悟して家に帰るようにしている。
- (5) 帰る場所はないと自分に言い聞かせて、死を覚悟している。

22

空欄Aに入れるのに最も適当なものを次より選び、その番号を解答紙にマークせよ。

- (1) 放
- (2) 逃
- (3) 斬
- (4) 罰
- (5) 助

23

空欄B Cに入れるのに最も適当な語の組み合わせを次より選び、その番号を解答紙にマークせよ。

- (1) B 悦 C 悲
- (2) B 楽 C 哀
- (3) B 咲 C 叫
- (4) B 愛 C 嫌
- (5) B 好 C 悪

24

傍線部(2)に近い意味の漢字として最も適当なものを次より一つ選び、その番号を解答紙にマークせよ。

- (1) 慕
- (2) 多
- (3) 若
- (4) 少
- (5) 術

25

本文の内容に関する説明として最も適当なものを次より一つ選び、その番号を解答紙にマークせよ。

- (1) 平国妙は、負け知らずの猛者であったが、馬が倒れて敵に捕らえられてしまった。しかし、敵方に甥がいたために命乞いをし、助けられた。
- (2) 藤原茂頼は、戦に敗れた将軍が落命したものと勘違いをし、出家するも、将軍が生きていたことを知り、己の早合点を悔やんで行方をくらました。
- (3) 藤原景季も平国妙も、馬が原因で敵方に捕らえられることになったが、いずれも武士にとっては恥ずべきことと認識された。
- (4) 藤原景季は、口数が少なく、騎射にすぐれていた。敵の指揮官を何度も討ち取るも、馬がつまずいたために、敵に捕らえられてしまった。
- (5) 和氣致輔や紀為清は、自分の命を顧みず、将軍のために戦い、他の将もこれに続いたので敵は戦意を喪失して逃げた。